

境神社のお祭りをずつと守つていく

朝日町立さみさと小学校四年 水島 都琶

ぼくが住んでいる境地区には、境神社があります。この神社は、地区の真ん中あたりのかなり高い場所にあります。その場所に行くには百三十段以上の石段を登つていかなくては行けません。ぼくは、小さいころはな人で、こゝろは高くて不便な場所に神社を作つたんだらうーと思つていました。でも、その場所に行つて下を見下ろしてみてもその理由が分からななような気がしました。その場所からは、境地区のほぼすべてが見わたせるのです。きつと神様にいつも見守つていてほしいと考へた人達が、この場所を選んだのだと思います。そのしようくに、境地区の人たちは、年に二度ある境神社祭礼をとでも大切にしています。すゝとんと人口が減つてしまつていゝる地区です。が、このときだけはみんなが、家の前に幕をかざり、旗をたてお祭りを盛り上げています。このときだけ神社から下ろしてくるお

みこしの他に子供たちだけでひく子供みこし
 そしてお祭りを盛り上げてくれる境成年会の
 かぐらが、町中をねり歩きます。

ぼくも小学校に入つた年から、子供みこし
 を引いていきます。小さい頃は獅子舞の獅子が
 こわかったり、一日中ずつと歩くのかいやだ
 たりしました。が、今ではこのお祭りのことを
 とても大切に思っています。

境地区は、とても歴史のある地区です。江
 戸時代には、大きな関所があつたそうです。

今でも、その時の資料が、関の館にかざられ
 ています。境地区の人たちは、そのことをほ
 こりに思っています。だからこそ、人が少な
 くなつた今でも、お祭りを大切に守つたり、
 お盆に帰つてきた人たちを楽しませる盆踊り
 やお盆の花火大会を繰り返しているのだと思
 います。

ぼくの住んでいる家は、そんな境地区の中
 でも長く続く家だといいいちゃんに聞いたこ
 とがあります。さごくうれしい気持ちになつ

たことをおぼえています。そんな家に生まれ
たほくだからこそ、お祭りのことを大切に思
えるのかなと思っでいます。ほくも大きくな
たら、成年会に入っでお祭りを盛り上げてい
きたいと思っでいます。もっ先には、父
人のようにみこしを引いて歩く役夫になりたい
思っでいます。

お祭りの最後の口上では「境発祥の地、境
神社の御前にて」というセリフがあります。

いふも境神社を見守りてくれる境神社や
そのお祭りをずと守り続けていきたいと思
います。